

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成16年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「
、
、
」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「-」…該当がないもの 「
」…マイナス（比較減）

「X」…数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

巻末の「神奈川県工業生産指数について」を参照してください。

神奈川県工業生産の動向

1 概要 - 生産指数は前年比 4.5%と 4 年ぶりに上昇 -

(1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、92.9 で前年比 4.5%上昇し、4 年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1 期は前年比 2.8%上昇し 3 期連続して上昇、2 期は同 1.6%低下、3 期は同 4.4%上昇、4 期は同 1.9%低下しました。

< 全国及び局管内の動き >

全国の製造工業指数(原指数)は、100.2 で前年比 5.5%上昇し、2 年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1 期は前期比 0.7%上昇し 3 期連続して上昇、2 期も同 2.0%上昇、3 期は同 0.2%低下、4 期も同 0.9%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数(原指数)は、95.5 で前年比 3.9%上昇し、2 年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1 期は前期比 0.7%上昇し 3 期連続して上昇、2 期も同 0.9%上昇、3 期も同 1.0%上昇、4 期は同 2.7%低下しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、93.3 で前年比 0.8%上昇し、4 年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1 期は前期比 2.7%上昇し 3 期連続して上昇、2 期は同 5.0%低下、3 期は同 3.9%上昇、4 期は同 1.2%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、75.5 で前年末比 7.1%低下し、7 年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1 期は前期末比 7.6%低下し 2 期ぶりに低下、2 期も同 4.5%低下、3 期は同 5.4%上昇、4 期は同 1.2%低下しました。

年間の動き

以上のように、生産・出荷指数(季節調整済指数)は、1 期は上昇、2 期は低下、3 期は上昇、4 期は低下しました。在庫指数(同)は、2 期を除いて各期とも低下しました。

また、生産・出荷指数(原指数)の前年同期比では各期とも上昇し、在庫指数(同)の前年同期末比では各期とも低下しました。

全国の工業生産は 16 年の前半は堅調に推移したものの、後半は低下に転じました。

県内の工業生産は 4 年ぶりに上昇し、一般機械工業や電子部品・デバイス工業などが上昇に大きく寄与しました。

(P 2 図 1 ・表 1、P 5 表 3、P 6 表 4 参照)

(指数)

図1 製造工業指数の四半期別推移

(平成12年 = 100 季節調整済指数)

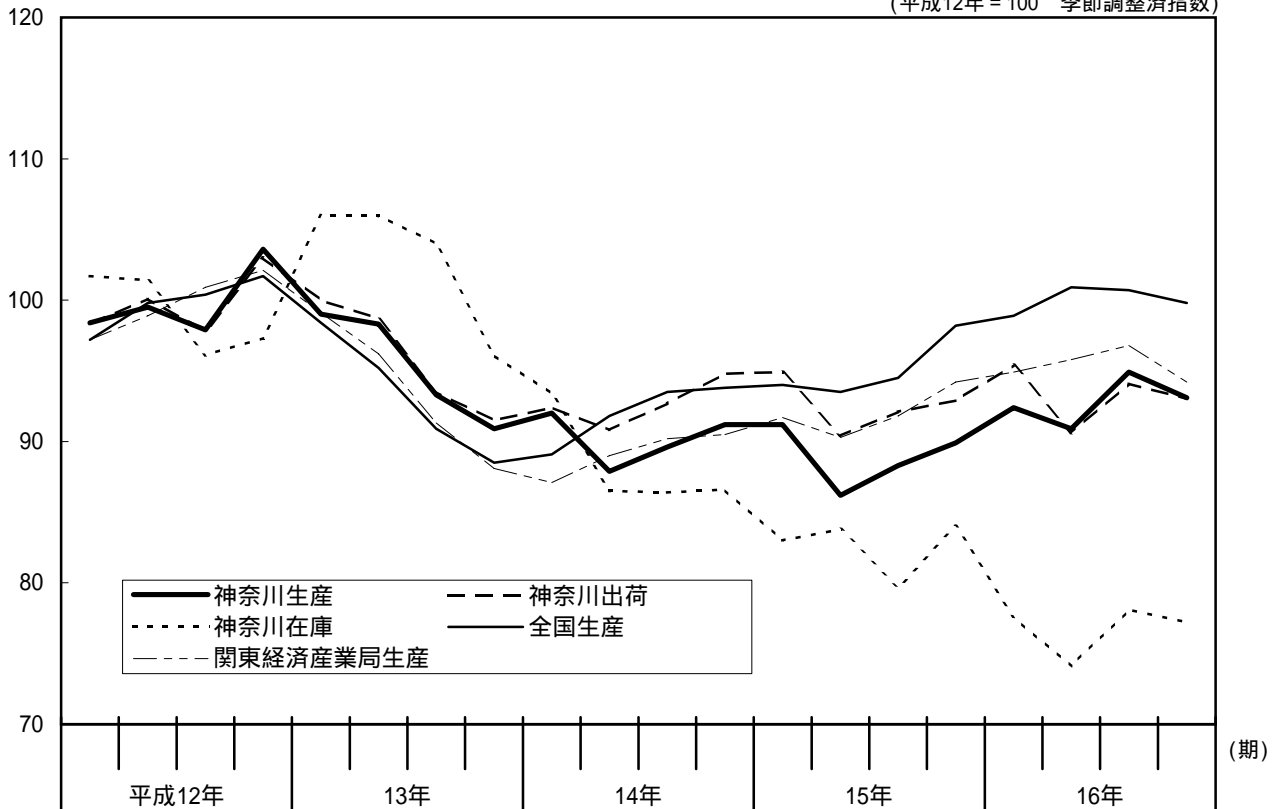


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成12年 = 100)

		12年	13年	14年	15年	16年	16年			
神奈川県 生産	指数	100.0	95.3	90.3	88.9	92.9	92.4	90.9	94.9	93.1
	対前年(期) 増減率%	3.8	4.7	5.2	1.6	4.5	2.8	1.6	4.4	1.9
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	1.3	5.5	7.5	3.6
出荷	指数	100.0	95.9	92.7	92.6	93.3	95.4	90.6	94.1	93.0
	対前年(期) 増減率%	3.1	4.1	3.3	0.1	0.8	2.7	5.0	3.9	1.2
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	0.5	0.2	2.2	0.1
在庫	指数	94.7	92.8	83.3	81.3	75.5	77.6	74.1	78.1	77.2
	対前年(期) 増減率%	9.2	2.0	10.2	2.4	7.1	7.6	4.5	5.4	1.2
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	6.5	11.6	2.0	8.1
全国 生産	指数	100.0	93.2	92.0	95.0	100.2	98.9	100.9	100.7	99.8
	対前年(期) 増減率%	5.7	6.8	1.3	3.3	5.5	0.7	2.0	0.2	0.9
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	5.2	7.9	6.6	1.6
関東経済産業局 管内 生産	指数	100.0	93.6	89.2	91.9	95.5	94.9	95.8	96.8	94.2
	対前年(期) 増減率%	6.5	6.4	4.7	3.0	3.9	0.7	0.9	1.0	2.7
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	3.5	6.1	5.4	0.0

* 年指数(比)・前年同期比は原指数、四半期指数は季節調整済指数

関東経済産業局管内: 栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

< 生産 >

業種別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や装軌式トラクタなどが増加した一般機械工業（前年比 16.7% 上昇）や、モス型半導体集積回路（CCD）が増加した電子部品・デバイス工業（同 35.5% 上昇）など 11 業種が上昇しました。

また、小型乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 7.7% 低下）など 7 業種が低下しました。

< 出荷 >

業種別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置やはん用内燃機関などが増加した一般機械工業（前年比 16.5% 上昇）や、外部記憶装置などが増加した情報通信機械工業（同 13.9% 上昇）など 10 業種が上昇しました。

また、小型乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 9.3% 低下）など 8 業種が低下しました。

< 在庫 >

業種別にみると、ビデオカメラやビデオテープレコーダなどが減少した情報通信機械工業（前年末比 58.1% 低下）や鉛蓄電池などが減少した電気機械工業（同 18.2% 低下）など 9 業種が低下しました。

また、普通トラックなどが増加した輸送機械工業（前年末比 23.3% 上昇）など 8 業種が上昇しました。

（ P 3 図 2、 P 4 表 2、 P 5 表 3 参照 ）

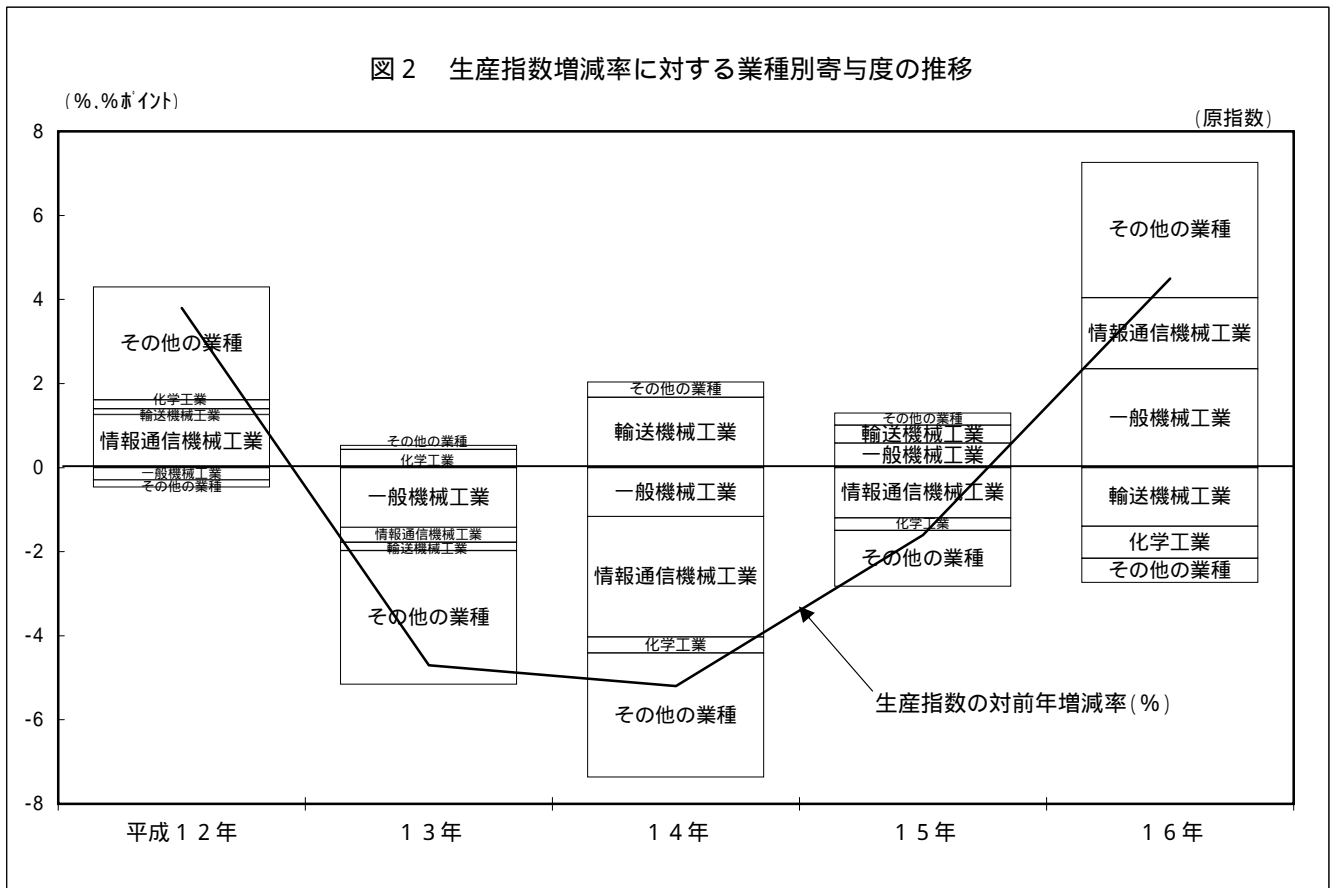


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 92.9 対前年増減率 4.5% 上昇11業種、低下7業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	一般機械工業	16.7	2.35	増	フラットパネルディスプレイ製造装置、装軌式トラクタ、はん用内燃機関など
				減	ボイラ部品、圧縮式冷凍機、機械プレスなど
	電子部品・デバイス工業	35.5	1.81	増	E型半導体集積回路(CCD)、E型半導体集積回路(論理素子)、光電変換素子など
				減	コネクタ、混成集積回路、整流素子など
	情報通信機械工業	18.0	1.69	増	外部記憶装置、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
減				端末装置、ビデオカメラ、基地局通信装置など	
電気機械工業	6.5	0.33	増	電気測定器、自動車用白熱灯器具、非標準変圧器など	
			減	電気冷蔵庫、アルカリ蓄電池、鉛蓄電池など	
金属製品工業	7.5	0.33	増	橋りょう、ばね、ベンディングロール成型鋼管など	
			減	ガス機器、一般缶、石油機器など	
低 下	輸送機械工業	7.7	1.40	増	ショベルトラック、フォークリフトトラック、けん引車など
				減	小型乗用車、普通乗用車、懸架制動装置部品など
	化学工業	4.4	0.76	増	身体洗剤、ポリプロピレングリコール、合成樹脂塗料など
				減	医薬品、化粧品、合成洗剤など

(2) 出荷 年指数 93.3 対前年増減率 0.8% 上昇10業種、低下8業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	一般機械工業	16.5	2.04	増	フラットパネルディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、軸受など
				減	蒸気タービン部品、圧縮式冷凍機、機械プレスなど
	情報通信機械工業	13.9	1.15	増	外部記憶装置、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど
				減	ビデオカメラ、端末装置、ビデオテープレコーダなど
電子部品・デバイス工業	7.0	0.31	増	E型半導体集積回路(論理素子)、光電変換素子、磁気テープなど	
			減	E型半導体集積回路(記憶素子)、E型半導体集積回路(CCD)、コネクタなど	
鉄鋼業	8.6	0.26	増	めっき鋼材、普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など	
			減	普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品など	
低 下	輸送機械工業	9.3	2.39	増	ショベルトラック、トラックボデー、フォークリフトトラックなど
				減	小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど
	化学工業	3.3	0.38	増	合成樹脂塗料、キシレン、プロピレンなど
				減	医薬品、化粧品、合成洗剤など
	石油・石炭製品工業	3.6	0.26	増	アスファルト、潤滑油、ジェット燃料油
				減	ガソリン、灯油、C重油など

(3) 在庫 年指数 75.5 対前年末増減率 7.1% 上昇8業種、低下9業種、横ばい1業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	輸送機械工業	23.3	2.43	増	普通トラック、小型トラック、けん引車など
				減	大型バス、自転車
横 ば い	電子部品・デバイス工業	28.9	0.83	増	E型半導体集積回路(論理素子)、E型半導体集積回路(記憶素子)、E型半導体集積回路(CCD)など
				減	線形半導体集積回路、光電変換素子、混成集積回路
低 下	一般機械工業	0.0	0.00	増	掘さく機械、軸受、ダイヤモンド工具など
				減	はん用内燃機関、圧縮式冷凍機、油圧機器など
	情報通信機械工業	58.1	7.28	増	-
				減	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ、拡声装置など
	電気機械工業	18.2	1.66	増	蛍光灯器具、高圧放電灯器具、蛍光ランプ
				減	鉛蓄電池、電気冷蔵庫、一般用白熱灯器具など
	窯業・土石製品工業	27.8	1.00	増	板ガラス、セメント、不定型耐火物
				減	石綿スレート、ガラス基礎製品、コンクリート系パネルなど
	化学工業	4.5	0.78	増	合成樹脂塗料、エチレングリコール、触媒など
				減	カラーロールフィルム、カラー映画用フィルム、ポリエチレンなど

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成12年 = 100 原指数)

業種	項目	生産				出荷				在庫				在庫率			
		13年	14年	15年	16年	13年	14年	15年	16年	13年	14年	15年	16年	13年	14年	15年	16年
製造工業	指数	95.3	90.3	88.9	92.9	95.9	92.7	92.6	93.3	92.8	83.3	81.3	75.5	116.2	101.3	93.3	106.7
	対前年増減率%	4.7	5.2	1.6	4.5	4.1	3.3	0.1	0.8	2.0	10.2	2.4	7.1	16.2	12.8	7.9	14.4
鉄鋼業	指数	99.6	99.5	99.5	107.4	102.3	102.0	103.1	112.0	100.5	87.6	89.9	100.9	101.3	93.8	92.7	91.5
	対前年増減率%	0.4	0.1	0.0	7.9	2.3	0.3	1.1	8.6	1.6	12.8	2.6	12.2	1.3	7.4	1.2	1.3
非鉄金属工業	指数	102.6	79.4	77.1	81.3	96.7	75.0	73.1	77.5	83.1	61.9	62.7	74.4	117.0	98.5	83.4	83.2
	対前年増減率%	2.6	22.6	2.9	5.4	3.3	22.4	2.5	6.0	13.3	25.5	1.3	18.7	17.0	15.8	15.3	0.2
金属製品工業	指数	88.9	74.9	73.1	78.6	76.4	67.4	70.6	73.3	66.3	54.5	49.6	45.1	81.3	72.3	58.2	56.3
	対前年増減率%	11.1	15.7	2.4	7.5	23.6	11.8	4.7	3.8	3.2	17.8	9.0	9.1	18.7	11.1	19.5	3.3
一般機械工業	指数	90.2	82.6	86.2	100.6	92.6	81.4	87.2	101.6	95.7	91.9	85.7	85.7	119.1	108.1	95.7	70.8
	対前年増減率%	9.8	8.4	4.4	16.7	7.4	12.1	7.1	16.5	4.7	4.0	6.7	0.0	19.1	9.2	11.5	26.0
電気機械工業	指数	98.1	84.7	82.6	88.0	96.2	82.4	80.5	79.0	89.8	86.9	77.6	63.5	111.0	104.9	105.5	218.2
	対前年増減率%	1.9	13.7	2.5	6.5	3.8	14.3	2.3	1.9	0.9	3.2	10.7	18.2	11.0	5.5	0.6	106.8
情報通信機械工業	指数	97.1	75.2	66.5	78.5	95.0	71.4	65.3	74.4	98.7	102.3	114.3	47.9	159.3	125.3	139.0	219.2
	対前年増減率%	2.9	22.6	11.6	18.0	5.0	24.8	8.5	13.9	1.6	3.6	11.7	58.1	59.3	21.3	10.9	57.7
電子部品・デバイス工業	指数	73.3	65.3	64.5	87.4	73.1	80.7	77.5	82.9	59.9	36.7	23.5	30.3	117.2	62.2	33.1	31.8
	対前年増減率%	26.7	10.9	1.2	35.5	26.9	10.4	4.0	7.0	16.9	38.7	36.0	28.9	17.2	46.9	46.8	3.9
輸送機械工業	指数	98.6	109.6	112.3	103.7	103.3	118.7	120.1	108.9	87.5	74.3	82.1	101.2	102.1	74.2	61.7	65.1
	対前年増減率%	1.4	11.2	2.5	7.7	3.3	14.9	1.2	9.3	23.8	15.1	10.5	23.3	2.1	27.3	16.8	5.5
精密機械工業	指数	96.9	101.7	107.1	106.8	101.2	115.2	116.5	115.0	124.5	83.1	26.3	27.4	122.4	88.1	34.3	25.0
	対前年増減率%	3.1	5.0	5.3	0.3	1.2	13.8	1.1	1.3	6.0	33.3	68.4	4.2	22.4	28.0	61.1	27.1
窯業・土石製品工業	指数	93.6	91.9	87.8	81.2	97.5	93.9	87.9	82.2	91.4	75.1	72.6	52.4	107.0	85.8	83.8	84.0
	対前年増減率%	6.4	1.8	4.5	7.5	2.5	3.7	6.4	6.5	8.7	17.8	3.3	27.8	7.0	19.8	2.3	0.2
化学工業	指数	102.7	100.4	98.7	94.4	101.2	99.8	98.1	94.9	110.1	101.7	100.9	96.4	118.7	123.0	119.7	119.7
	対前年増減率%	2.7	2.2	1.7	4.4	1.2	1.4	1.7	3.3	20.3	7.6	0.8	4.5	18.7	3.6	2.7	0.0
石油・石炭製品工業	指数	102.2	99.4	105.2	100.1	93.9	85.5	89.2	86.0	85.8	84.5	127.6	118.8	101.5	111.8	128.5	133.3
	対前年増減率%	2.2	2.7	5.8	4.8	6.1	8.9	4.3	3.6	8.7	1.5	51.0	6.9	1.5	10.1	14.9	3.7
プラスチック製品工業	指数	93.9	91.8	92.6	83.9	95.8	94.7	95.3	87.5	99.0	87.8	84.8	66.8	108.0	98.6	93.8	85.1
	対前年増減率%	6.1	2.2	0.9	9.4	4.2	1.1	0.6	8.2	4.0	11.3	3.4	21.2	8.0	8.7	4.9	9.3
紙・紙加工品工業	指数	92.2	88.2	87.7	93.8	94.4	86.2	85.8	91.1	82.8	76.1	53.4	80.7	115.2	116.9	88.9	79.0
	対前年増減率%	7.8	4.3	0.6	7.0	5.6	8.7	0.5	6.2	21.5	8.1	29.8	51.1	15.2	1.5	24.0	11.1
繊維工業	指数	99.1	79.7	76.6	72.5	97.7	79.6	70.0	68.9	104.5	58.2	122.8	122.3	85.3	103.6	156.3	158.3
	対前年増減率%	0.9	19.6	3.9	5.4	2.3	18.5	12.1	1.6	6.0	44.3	111.0	0.4	14.7	21.5	50.9	1.3
食料品・飲料工業	指数	99.0	102.1	94.2	97.1	98.6	101.4	97.6	99.5	107.4	99.4	86.0	93.2	119.2	125.4	108.5	104.2
	対前年増減率%	1.0	3.1	7.7	3.1	1.4	2.8	3.7	1.9	25.3	7.4	13.5	8.4	19.2	5.2	13.5	4.0
その他工業	指数	96.7	91.4	97.0	102.4	96.3	93.4	99.1	103.4	103.9	100.7	83.0	75.3	115.0	112.2	95.6	78.7
	対前年増減率%	3.3	5.5	6.1	5.6	3.7	3.0	6.1	4.3	4.8	3.1	17.6	9.3	15.0	2.4	14.8	17.7
ゴム製品工業	指数	100.7	98.8	103.7	105.0	98.3	100.1	104.3	104.7	123.6	114.8	97.9	105.9	120.6	122.2	107.2	100.1
	対前年増減率%	0.7	1.9	5.0	1.3	1.7	1.8	4.2	0.4	33.2	7.1	14.7	8.2	20.6	1.3	12.3	6.6
家具工業	指数	88.5	76.0	83.2	96.9	91.3	76.4	85.7	100.2	78.0	82.1	63.4	35.2	107.7	99.2	80.4	50.6
	対前年増減率%	11.5	14.1	9.5	16.5	8.7	16.3	12.2	16.9	27.4	5.3	22.8	44.5	7.7	7.9	19.0	37.1
公益事業	指数	100.2	102.3	124.2	110.8	100.1	100.2	102.3	104.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	0.2	2.1	21.4	10.8	0.1	0.1	2.1	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指数	92.7	86.5	86.0	93.6	95.5	92.8	92.8	94.5	88.2	79.4	75.5	67.2	120.8	95.3	85.1	110.6
	対前年増減率%	7.3	6.7	0.6	8.8	4.5	2.8	0.0	1.8	8.7	10.0	4.9	11.0	20.8	21.1	10.7	30.0

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

表 4

平成16年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成12年 = 100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%	指 数	対前期増減率%
製 造 工 業	指 数	92.4	90.9	94.9	93.1	95.4	90.6	94.1	93.0	77.6	74.1	78.1	77.2	100.0	98.7	116.0	112.3
	対前期増減率%	2.8	1.6	4.4	1.9	2.7	5.0	3.9	1.2	7.6	4.5	5.4	1.2	8.2	1.3	17.5	3.2
鉄 鋼 業	指 数	104.7	104.5	109.6	110.9	108.6	110.7	112.1	116.7	95.1	94.7	108.2	104.0	91.6	90.2	92.4	91.7
	対前期増減率%	5.9	0.2	4.9	1.2	8.5	1.9	1.3	4.1	2.4	0.4	14.3	3.9	6.9	1.5	2.4	0.8
非鉄金属 工 業	指 数	70.4	79.7	84.3	91.6	72.4	77.3	79.9	80.5	58.3	62.9	62.5	71.2	74.7	77.1	76.9	104.8
	対前期増減率%	1.9	13.2	5.8	8.7	0.8	6.8	3.4	0.8	6.0	7.9	0.6	13.9	9.3	3.2	0.3	36.3
金属製品 工 業	指 数	80.3	76.1	75.6	82.1	73.9	73.0	71.2	74.9	49.6	51.0	49.8	45.9	56.4	57.3	55.8	55.7
	対前期増減率%	6.5	5.2	0.7	8.6	1.8	1.2	2.5	5.2	5.3	2.8	2.4	7.8	2.8	1.6	2.6	0.2
一般機械 工 業	指 数	93.9	95.8	109.4	103.9	96.7	97.3	108.1	104.8	79.2	81.6	80.5	81.9	75.2	74.6	68.9	64.8
	対前期増減率%	5.4	2.0	14.2	5.0	6.0	0.6	11.1	3.1	4.7	3.0	1.3	1.7	1.2	0.8	7.6	6.0
電気機械 工 業	指 数	87.0	92.6	90.3	82.3	80.1	81.4	78.5	76.3	64.9	64.5	67.4	62.3	126.2	160.8	281.5	319.0
	対前期増減率%	0.8	6.4	2.5	8.9	5.8	1.6	3.6	2.8	19.3	0.6	4.5	7.6	20.3	27.4	75.1	13.3
情報通信 機械工業	指 数	78.6	74.7	78.3	78.2	74.9	71.2	74.8	74.3	127.9	79.2	80.6	57.4	235.2	188.3	257.2	181.7
	対前期増減率%	12.9	5.0	4.8	0.1	7.2	4.9	5.1	0.7	9.0	38.1	1.8	28.8	46.4	19.9	36.6	29.4
電子部品・ デバイス工業	指 数	76.7	87.0	93.9	91.2	83.0	83.4	84.0	81.2	21.5	21.9	26.4	30.2	31.3	28.1	32.4	35.4
	対前期増減率%	5.1	13.4	7.9	2.9	0.1	0.5	0.7	3.3	11.9	1.9	20.5	14.4	3.3	10.2	15.3	9.3
輸送機械 工 業	指 数	110.6	101.9	103.2	98.5	119.7	106.3	106.1	103.0	67.5	68.5	88.3	87.3	59.3	60.7	70.1	76.0
	対前期増減率%	0.3	7.9	1.3	4.6	2.8	11.2	0.2	2.9	8.0	1.5	28.9	1.1	2.2	2.4	15.5	8.4
精密機械 工 業	指 数	99.5	116.3	105.6	109.6	105.3	125.1	116.2	116.9	27.7	29.5	25.5	25.5	26.5	24.2	24.0	25.3
	対前期増減率%	1.0	16.9	9.2	3.8	4.4	18.8	7.1	0.6	14.0	6.5	13.6	0.0	10.0	8.7	0.8	5.4
窯業・土石 製品工業	指 数	83.3	80.9	84.7	76.2	84.0	82.4	83.5	79.2	66.7	60.7	57.9	53.2	95.7	92.4	77.7	68.3
	対前期増減率%	0.8	2.9	4.7	10.0	1.8	1.9	1.3	5.1	8.6	9.0	4.6	8.1	14.9	3.4	15.9	12.1
化学工業	指 数	96.4	92.4	94.8	94.1	97.3	92.8	94.6	95.0	104.9	103.1	104.2	101.9	116.1	122.4	124.8	115.1
	対前期増減率%	0.4	4.1	2.6	0.7	0.6	4.6	1.9	0.4	1.9	1.7	1.1	2.2	0.3	5.4	2.0	7.8
石油・石炭 製品工業	指 数	103.0	89.0	104.2	103.2	88.7	77.5	89.2	88.1	110.7	99.6	119.9	129.2	132.2	136.9	128.8	134.7
	対前期増減率%	0.0	13.6	17.1	1.0	2.9	12.6	15.1	1.2	21.1	10.0	20.4	7.8	13.0	3.6	5.9	4.6
プラスチック 製品工業	指 数	90.6	81.8	81.7	81.6	94.8	84.8	84.9	85.7	77.0	71.8	69.4	66.9	86.0	88.6	84.2	81.4
	対前期増減率%	0.7	9.7	0.1	0.1	0.6	10.5	0.1	0.9	9.0	6.8	3.3	3.6	11.3	3.0	5.0	3.3
紙・紙加工品 工 業	指 数	84.0	91.9	103.0	96.3	79.1	90.8	99.2	95.0	53.1	71.0	96.2	92.5	79.7	73.8	76.9	89.7
	対前期増減率%	0.8	9.4	12.1	6.5	3.5	14.8	9.3	4.2	19.7	33.7	35.5	3.8	9.7	7.4	4.2	16.6
繊維工業	指 数	76.2	73.0	68.0	72.9	86.4	67.4	57.3	63.1	63.2	68.7	98.6	106.5	90.7	103.3	225.8	184.4
	対前期増減率%	10.0	4.2	6.8	7.2	68.1	22.0	15.0	10.1	44.6	8.7	43.5	8.0	79.4	13.9	118.6	18.3
食料品・ 飲料工業	指 数	95.5	94.8	98.7	99.5	99.7	97.3	100.4	101.3	101.0	98.5	104.1	104.4	119.9	98.0	100.9	97.3
	対前期増減率%	0.9	0.7	4.1	0.8	0.3	2.4	3.2	0.9	0.9	2.5	5.7	0.3	9.8	18.3	3.0	3.6
その他工業	指 数	99.1	101.7	96.4	112.4	101.6	100.7	100.9	109.9	76.8	80.6	73.9	75.4	86.2	79.0	73.2	77.3
	対前期増減率%	2.9	2.6	5.2	16.6	3.7	0.9	0.2	8.9	9.5	4.9	8.3	2.0	6.2	8.4	7.3	5.6
ゴム製品 工 業	指 数	106.2	102.1	101.0	110.8	105.8	102.1	103.1	107.5	100.3	107.1	100.4	108.5	103.7	97.5	94.8	106.0
	対前期増減率%	3.1	3.9	1.1	9.7	1.2	3.5	1.0	4.3	1.6	6.8	6.3	8.1	5.6	6.0	2.8	11.8
家具工業	指 数	83.7	97.2	93.1	114.9	91.1	96.5	95.9	117.0	43.7	46.7	40.6	33.2	63.7	54.8	49.3	35.8
	対前期増減率%	1.9	16.1	4.2	23.4	12.2	5.9	0.6	22.0	31.6	6.9	13.1	18.2	25.6	14.0	10.0	27.4
公 益 事 業	指 数	120.2	107.8	111.0	103.2	103.2	105.4	106.3	104.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	2.0	10.3	3.0	7.0	1.6	2.1	0.9	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	92.4	91.5	96.9	93.2	97.4	92.3	95.2	92.5	69.9	64.0	66.7	66.7	97.7	96.2	127.1	122.1
	対前期増減率%	3.8	1.0	5.9	3.8	3.3	5.2	3.1	2.8	8.9	8.4	4.2	0.0	23.2	1.5	32.1	3.9

* 生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

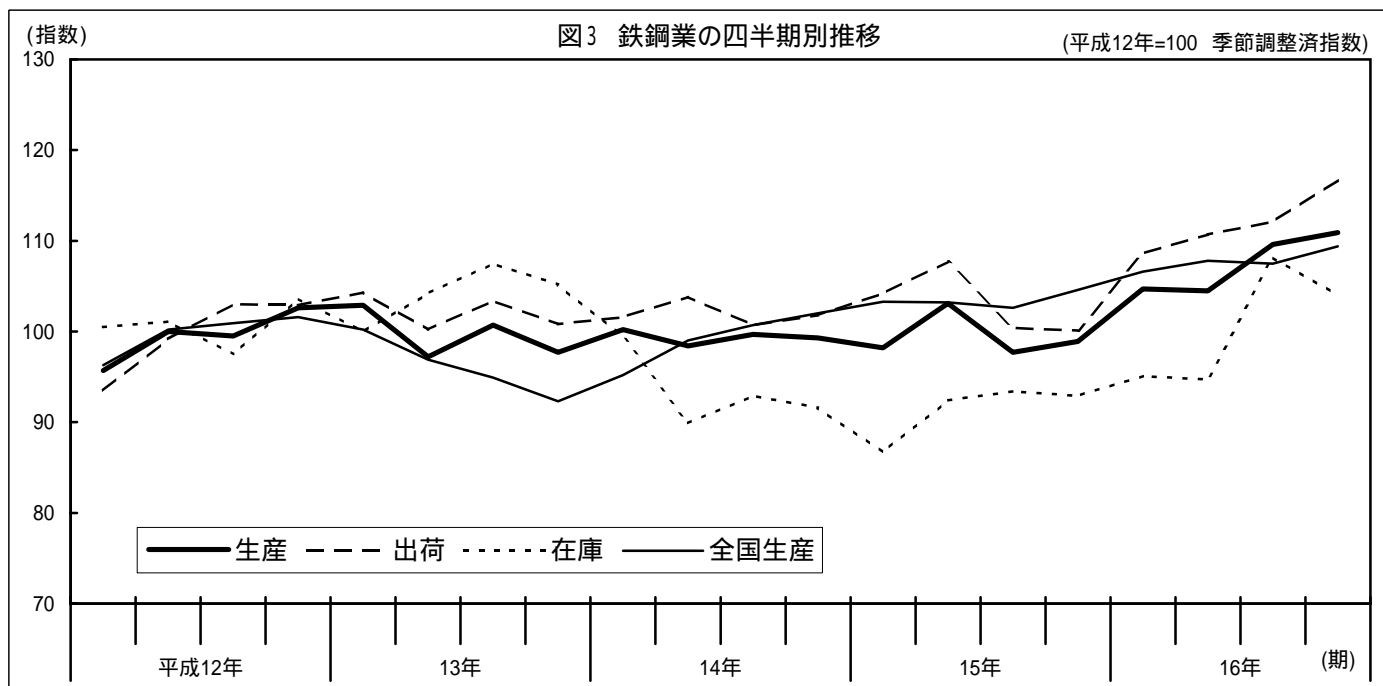
* 公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

2 業種別の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業>

- 生産は4年ぶりの上昇、出荷は2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、107.4で前年比7.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で上昇しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼板などが増加し、鋳鋼品などが減少しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、108.0で前年比4.5%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、112.0で前年比8.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で上昇しました。

品目別にみると、めっき鋼材や普通鋼鋼板などが増加し、普通鋼冷間仕上鋼材などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、100.9で前年末比12.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前年末比2.4%上昇、期は同0.4%低下、期は同14.3%上昇、期は同3.9%低下しました。

品目別にみると、めっき鋼材や普通鋼鋼帯などが増加し、普通鋼鋼管などが減少しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

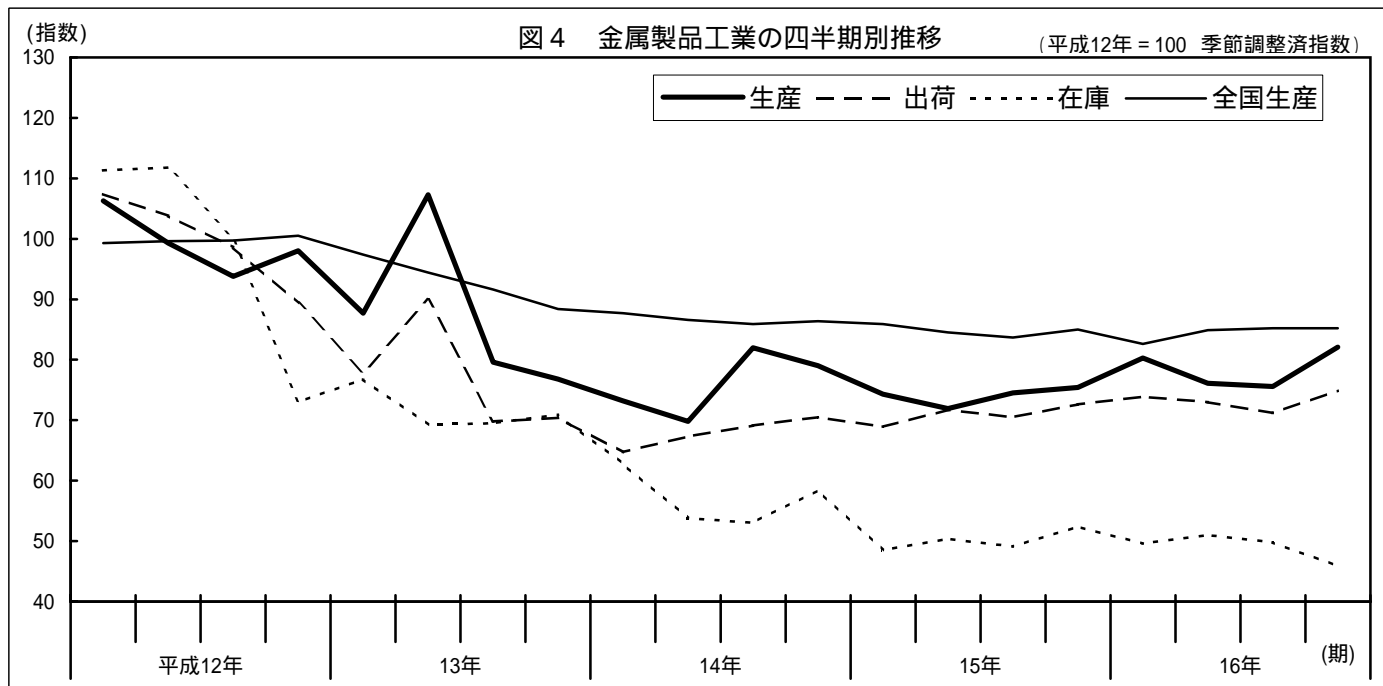
		15年		16年				上昇又は低下に寄与した品目					
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	増	減				
生産	指数	99.5		107.4		104.7		104.5		109.6		110.9	
	対前年(期)増減率%	0.0	7.9	5.9	0.2	4.9	1.2	鋼半製品、普通鋼鋼板、普通鋼鋼帯など	鋳鋼品、特殊鋼冷間仕上鋼材など				
出荷	指数	103.1		112.0		108.6		110.7		112.1		116.7	
	対前年(期)増減率%	1.1	8.6	8.5	1.9	1.3	4.1	めっき鋼材、普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など	普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材など				
在庫	指数	89.9		100.9		95.1		94.7		108.2		104.0	
	対前年(期)増減率%	2.6	12.2	2.4	0.4	14.3	3.9	めっき鋼材、普通鋼鋼帯、特殊鋼鋼管など	普通鋼鋼管、鋼半製品など				

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 金属製品工業 >

- 生産は7年ぶりの上昇、出荷は2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、78.6で前年比7.5%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比6.5%上昇、期は同5.2%低下、期も同0.7%低下、期は同8.6%上昇しました。
 品目別にみると、橋りょうやばねなどが増加し、ガス機器などが減少しました。
 また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、84.5で前年比0.1%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、73.3で前年比3.8%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比1.8%上昇、期は同1.2%低下、期も同2.5%低下、期は同5.2%上昇しました。
 品目別にみると、橋りょうや超硬チップなどが増加し、ガス機器などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、45.1で前年末比9.1%低下し、8年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、ガス機器や超硬チップなどが減少し、食缶などが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		15年		16年			
生産	指数	73.1	78.6	80.3	76.1	75.6	82.1
	対前年(期)増減率%	2.4	7.5	6.5	5.2	0.7	8.6
出荷	指数	70.6	73.3	73.9	73.0	71.2	74.9
	対前年(期)増減率%	4.7	3.8	1.8	1.2	2.5	5.2
在庫	指数	49.6	45.1	49.6	51.0	49.8	45.9
	対前年(期)増減率%	9.0	9.1	5.3	2.8	2.4	7.8

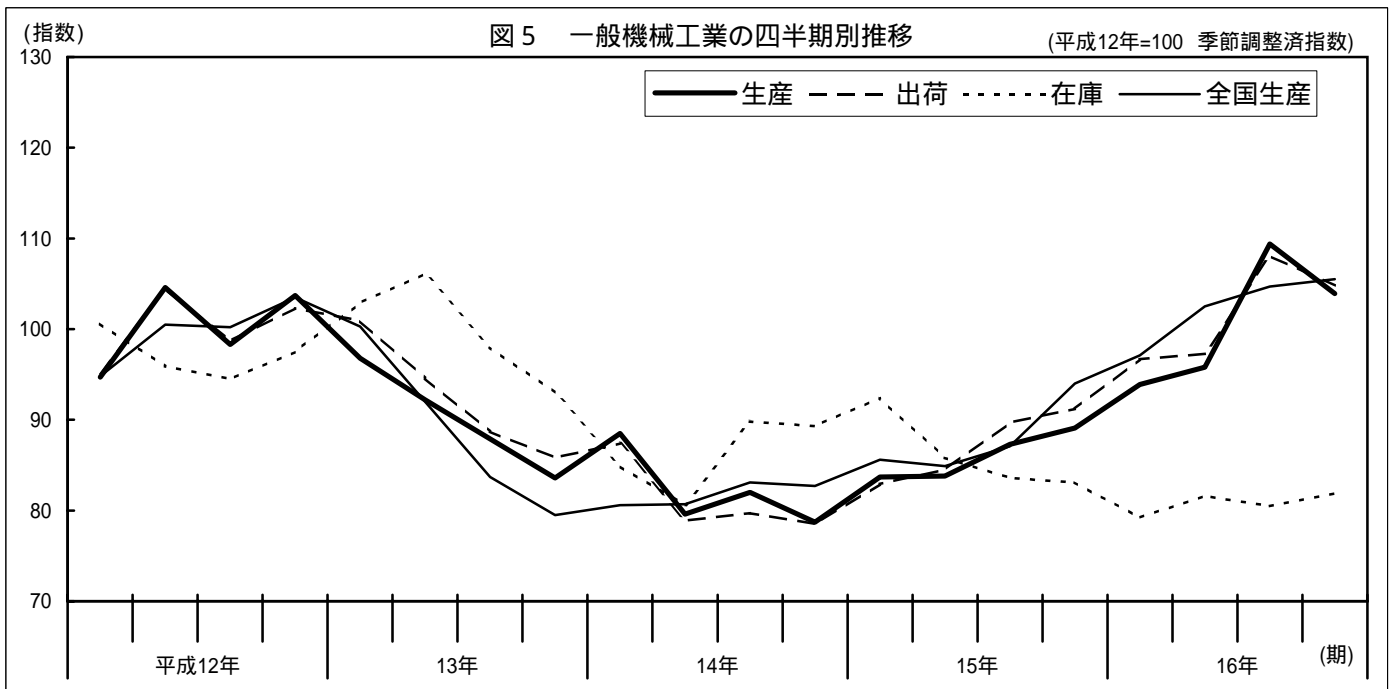
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	橋りょう、ばね、ハンディングロール成型鋼管など
	減	ガス機器、一般缶など
出荷	増	橋りょう、超硬チップ、食缶など
	減	ガス機器、飲料用アルミ缶など
在庫	増	食缶、飲料用アルミ缶など
	減	ガス機器、超硬チップ、石油機器など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 一般機械工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、100.6で前年比16.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、フラットパネルディスプレイ製造装置や装軌式トラクタなどが増加し、ボイラ部品などが減少しました。
 また、全国の一般機械工業の生産指数(同)は、102.4で前年比16.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、101.6で前年比16.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、フラットパネルディスプレイ製造装置やはん用内燃機関が増加し、蒸気タービン部品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、85.7で前年末比0.0%で、横ばいとなりました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期は前期末比4.7%低下、 期は同3.0%上昇、 期は同1.3%低下、 期は同1.7%上昇しました。
 品目別にみると、掘さく機械や軸受などが増加し、はん用内燃機関や圧縮式冷凍機などが減少しました。

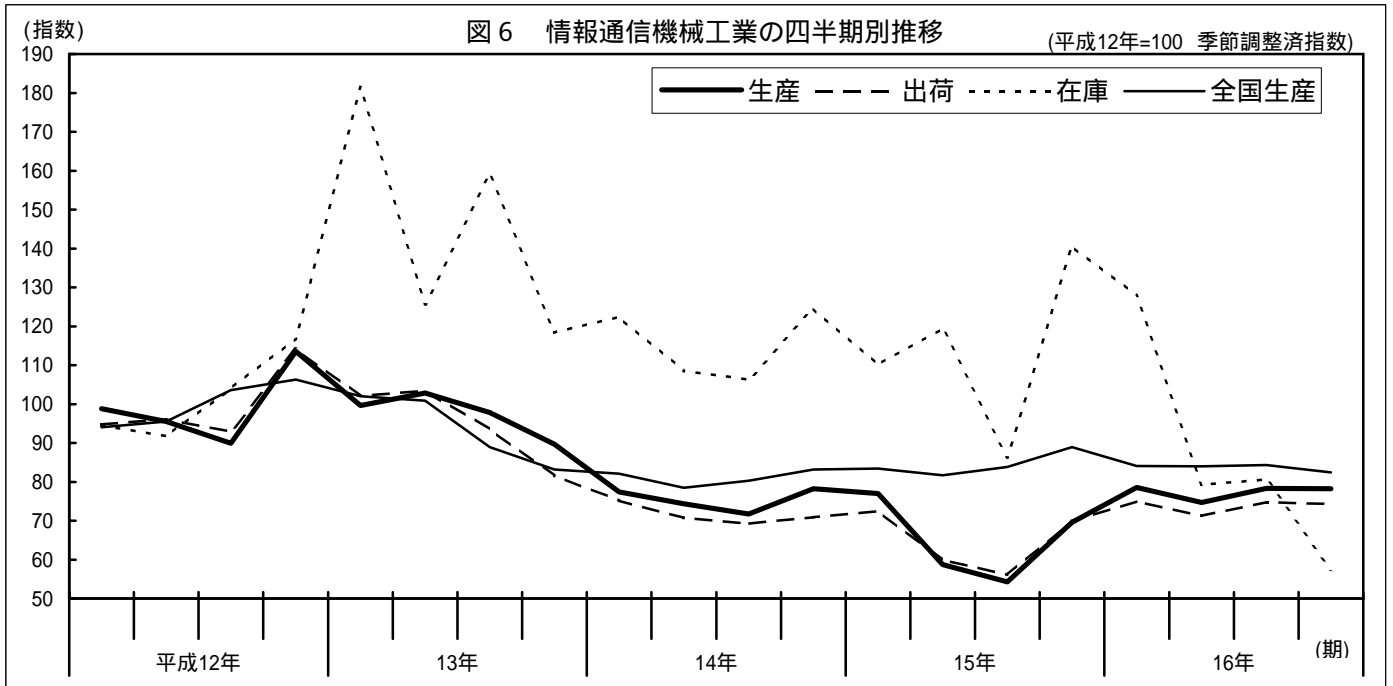
表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		15年							16年							上昇又は低下に寄与した品目		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増	減			
生産	指数	86.2	100.6	93.9	95.8	109.4	103.9	86.2	100.6	93.9	95.8	109.4	103.9	生産	増	フラットパネルディスプレイ製造装置、装軌式トラクタ、はん用内燃機関など		
	対前年(期)増減率%	4.4	16.7	5.4	2.0	14.2	5.0	4.4	16.7	5.4	2.0	14.2	5.0		減	ボイラ部品、圧縮式冷凍機、など		
出荷	指数	87.2	101.6	96.7	97.3	108.1	104.8	87.2	101.6	96.7	97.3	108.1	104.8	出荷	増	フラットパネルディスプレイ製造装置、はん用内燃機関、軸受など		
	対前年(期)増減率%	7.1	16.5	6.0	0.6	11.1	3.1	7.1	16.5	6.0	0.6	11.1	3.1		減	蒸気タービン部品、圧縮式冷凍機など		
在庫	指数	85.7	85.7	79.2	81.6	80.5	81.9	85.7	85.7	79.2	81.6	80.5	81.9	在庫	増	掘さく機械、軸受、ダイヤモンド工具など		
	対前年(期)増減率%	6.7	0.0	4.7	3.0	1.3	1.7	6.7	0.0	4.7	3.0	1.3	1.7		減	はん用内燃機関、圧縮式冷凍機、油圧機器など		

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数
 * 品目順は寄与度順に列記

< 情報通信機械工業 >

- 生産、出荷とも4年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、78.5で前年比18.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比12.9%上昇、期は同5.0%低下、期は同4.8%上昇、期は同0.1%低下しました。
 品目別にみると、外部記憶装置や入出力装置などが増加し、端末装置などが減少しました。
 また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、84.0で前年比0.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、74.4で前年比13.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比7.2%上昇、期は同4.9%低下、期は同5.1%上昇、期は同0.7%低下しました。
 品目別にみると、外部記憶装置や入出力装置などが増加し、ビデオカメラなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、47.9で前年末比58.1%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、ビデオカメラやビデオテープレコーダなどが減少しました。

表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

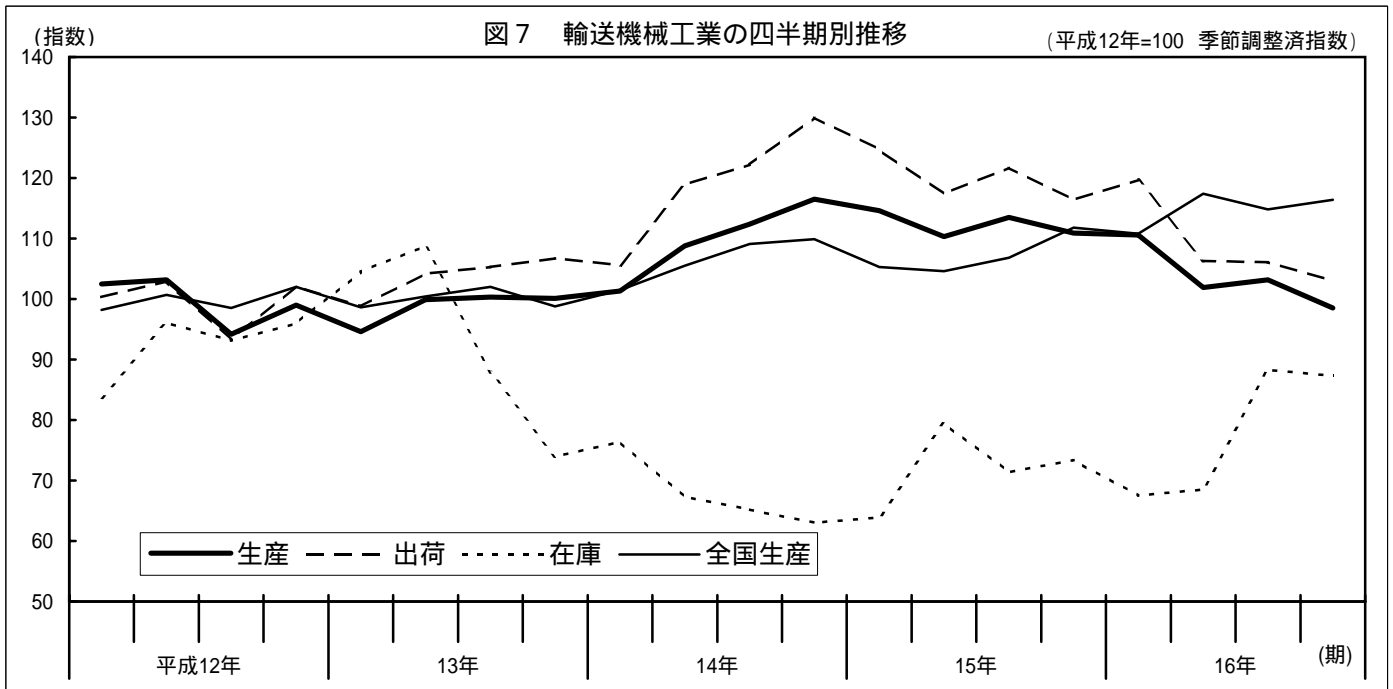
		15年							16年												
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4								
生産	指数	66.5	78.5	78.6	74.7	78.3	78.2	上昇又は低下に寄与した品目													
	対前年(期)増減率%	11.6	18.0	12.9	5.0	4.8	0.1	増	外部記憶装置、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど						減	端末装置、ビデオカメラなど					
出荷	指数	65.3	74.4	74.9	71.2	74.8	74.3	増	外部記憶装置、入出力装置、ミッドレンジコンピュータなど						減	ビデオカメラ、端末装置など					
	対前年(期)増減率%	8.5	13.9	7.2	4.9	5.1	0.7	増	-						減	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ、拡声装置など					
在庫	指数	114.3	47.9	127.9	79.2	80.6	57.4														
	対前年(期)増減率%	11.7	58.1	9.0	38.1	1.8	28.8														

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

- 生産は3年ぶりの低下、出荷は5年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、103.7で前年比7.7%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、ショベルトラックなどが増加しました。
 また、全国の輸送機械工業の生産指数(同)は、115.1で前年比7.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、108.9で前年比9.3%低下し、5年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、ショベルトラックなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、101.2で前年末比23.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比8.0%低下、期は同1.5%上昇、期も同28.9%上昇、期は同1.1%低下しました。
 品目別にみると、普通トラックや小型トラックなどが増加し、大型バスなどが減少しました。

表 9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

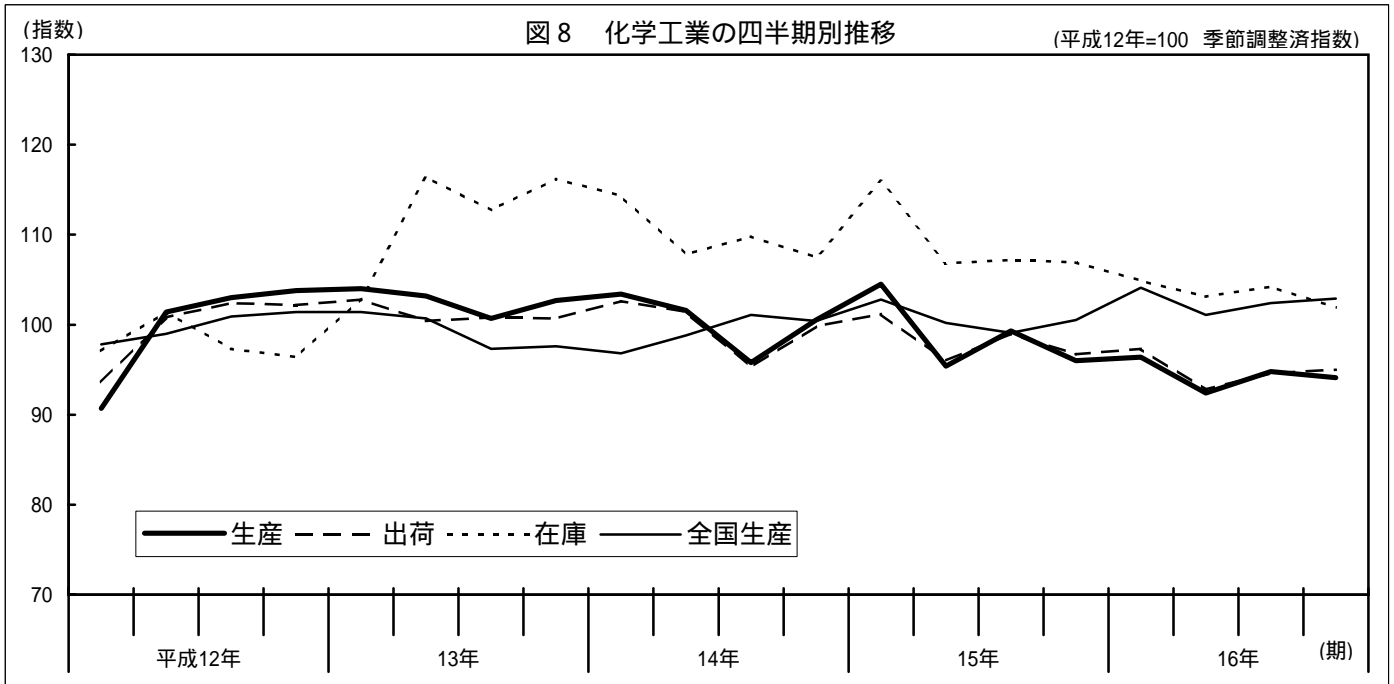
		15年	16年	上昇又は低下に寄与した品目			
生産	指数	112.3	103.7	110.6	101.9	103.2	98.5
	対前年(期)増減率%	2.5	7.7	0.3	7.9	1.3	4.6
出荷	指数	120.1	108.9	119.7	106.3	106.1	103.0
	対前年(期)増減率%	1.2	9.3	2.8	11.2	0.2	2.9
在庫	指数	82.1	101.2	67.5	68.5	88.3	87.3
	対前年(期)増減率%	10.5	23.3	8.0	1.5	28.9	1.1
生産	増	ショベルトラック、フォークリフトトラックなど					
生産	減	小型乗用車、普通乗用車、懸架制動装置部品など					
出荷	増	ショベルトラック、トラックボデーなど					
出荷	減	小型乗用車、普通乗用車、乗用車ボデーなど					
在庫	増	普通トラック、小型トラック、けん引車など					
在庫	減	大型バス、自転車					

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 化学工業 >

- 生産、出荷とも3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、94.4で前年比4.4%低下し、3年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比0.4%上昇、2期は同4.1%低下、3期は同2.6%上昇、4期は同0.7%低下しました。
 品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、身体洗浄剤などが増加しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(同)は、102.9で前年比2.3%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、94.9で前年比3.3%低下し、3年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、合成樹脂塗料などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、96.4で前年末比4.5%低下し、3年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期を除いて各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、カーロールフィルムやカー映画用フィルムなどが減少し、合成樹脂塗料などが増加しました。

表 1 0 化学工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

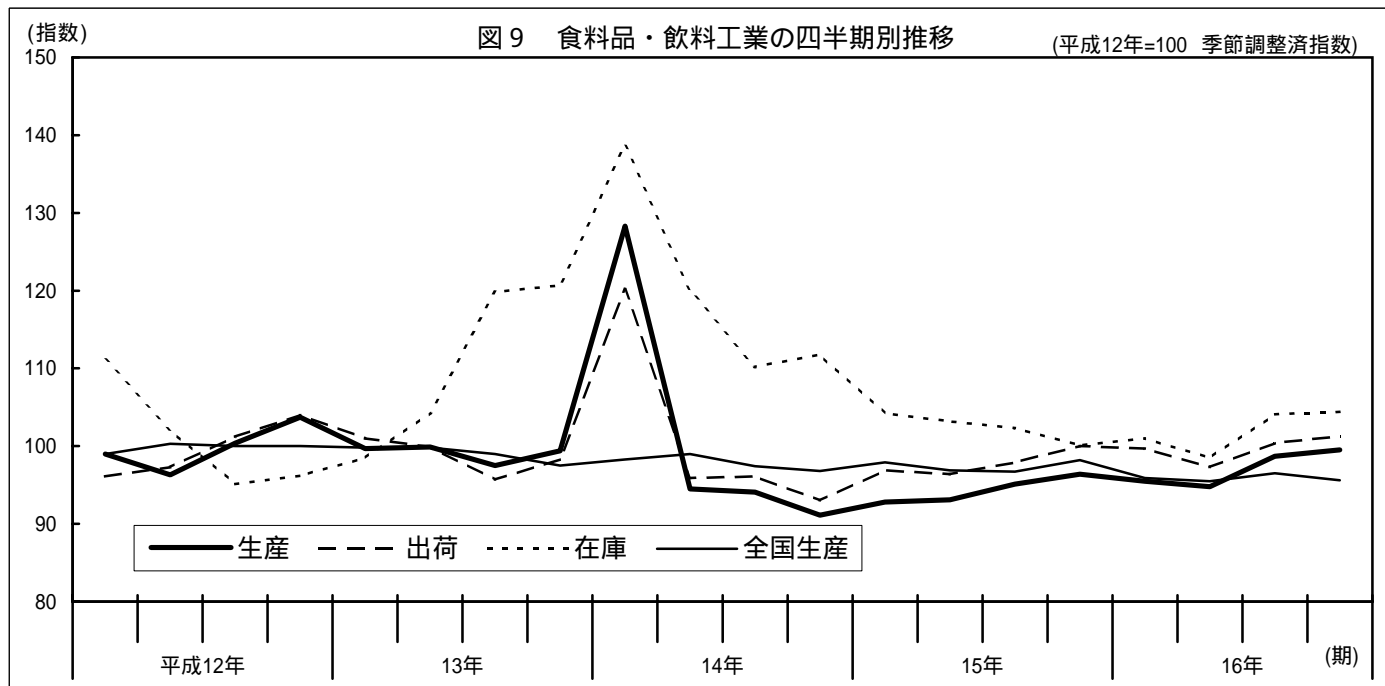
		15年		16年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	1	2		
生産	指数	98.7	94.4	96.4	92.4	94.8	94.1	増 身体洗浄剤、ポリプロピレングリコールなど 減 医薬品、化粧品、合成洗剤など	
	対前年(期)増減率%	1.7	4.4	0.4	4.1	2.6	0.7		
出荷	指数	98.1	94.9	97.3	92.8	94.6	95.0	増 合成樹脂塗料、キシレンなど 減 医薬品、化粧品、合成洗剤など	
	対前年(期)増減率%	1.7	3.3	0.6	4.6	1.9	0.4		
在庫	指数	100.9	96.4	104.9	103.1	104.2	101.9	増 合成樹脂塗料、エチレングリコールなど 減 カーロールフィルム、カー映画用フィルム、ポリイソブレンなど	
	対前年(期)増減率%	0.8	4.5	1.9	1.7	1.1	2.2		

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 食料品・飲料工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、97.1で前年比3.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比0.9%低下、期も同0.7%低下、期は同4.1%上昇、期も同0.8%上昇しました。
 品目別にみると、グルタミン酸ソーダや生めん類などが増加し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが減少しました。
 また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(同)は、96.1で前年比1.2%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、99.5で前年比1.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比0.3%低下、期も同2.4%低下、期は同3.2%上昇、期も同0.9%上昇しました。
 品目別にみると、牛乳や炭酸飲料などが増加し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、93.2で前年末比8.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期末比で上昇しました。
 品目別にみると、チョコレートや混合植物油脂などが増加し、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが減少しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

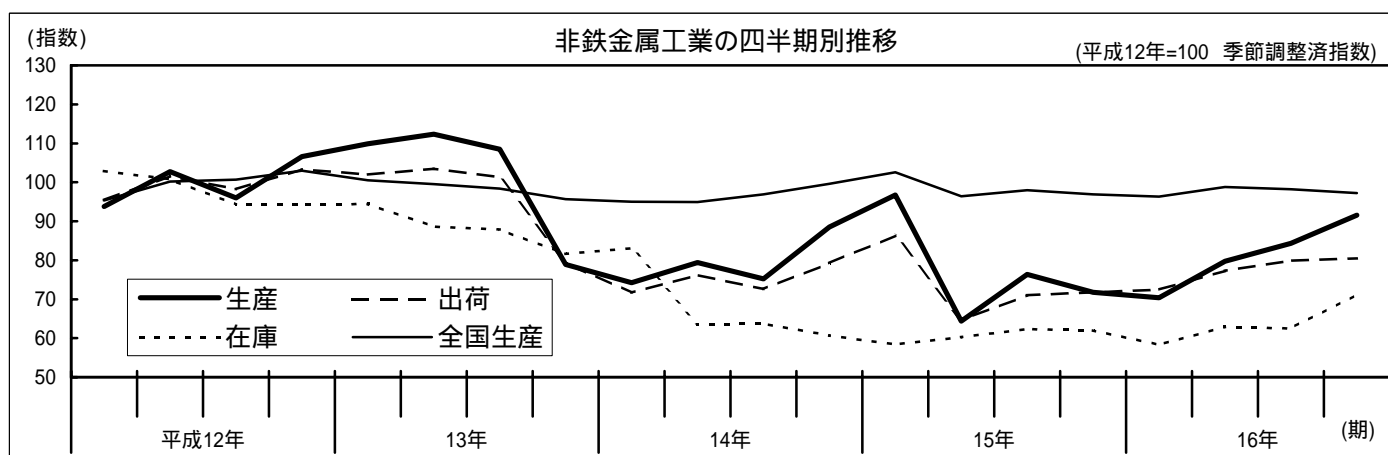
		15年		16年				上昇又は低下に寄与した品目						
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%					
生産	指数	94.2	7.7	97.1	3.1	95.5	0.9	94.8	0.7	98.7	4.1	99.5	0.8	増 グルタミン酸ソーダ、生めん類、牛乳など 減 清涼飲料(炭酸飲料除く)、食パンなど
	対前年(期)増減率%													
出荷	指数	97.6	3.7	99.5	1.9	99.7	0.3	97.3	2.4	100.4	3.2	101.3	0.9	増 牛乳、炭酸飲料、グルタミン酸ソーダなど 減 清涼飲料(炭酸飲料除く)、小麦粉など
	対前年(期)増減率%													
在庫	指数	86.0	13.5	93.2	8.4	101.0	0.9	98.5	2.5	104.1	5.7	104.4	0.3	増 チョコレート、混合植物油脂、小麦粉など 減 蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、果実酒など
	対前年(期)増減率%													

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業> - 生産は3年ぶりの上昇、出荷は4年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、81.3で前年比5.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバやダイカストなどが増加し、軽合金鋳物などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、97.8で前年比0.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

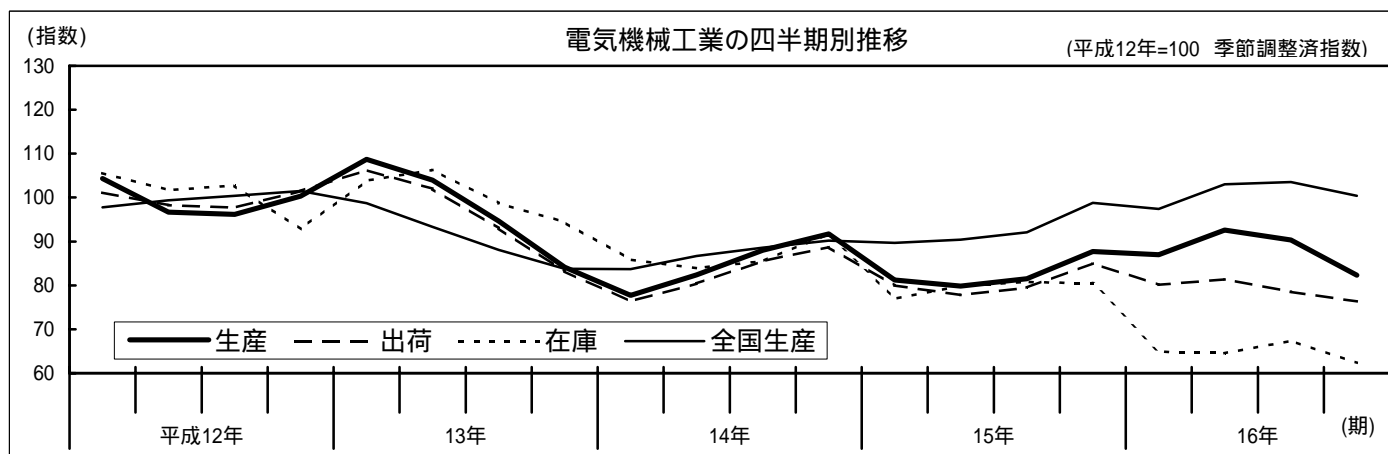
<出荷>

出荷指数(原指数)は、77.5で前年比6.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが増加し、軽合金鋳物などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、74.4で前年末比18.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、銅電線や伸銅製品などが増加し、電力用電線・ケーブルなどが減少しました。

<電気機械工業> - 生産は4年ぶりの上昇、出荷は4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、88.0で前年比6.5%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、電気測定器や自動車用白熱灯器具などが増加し、電気冷蔵庫などが減少しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、101.0で前年比9.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

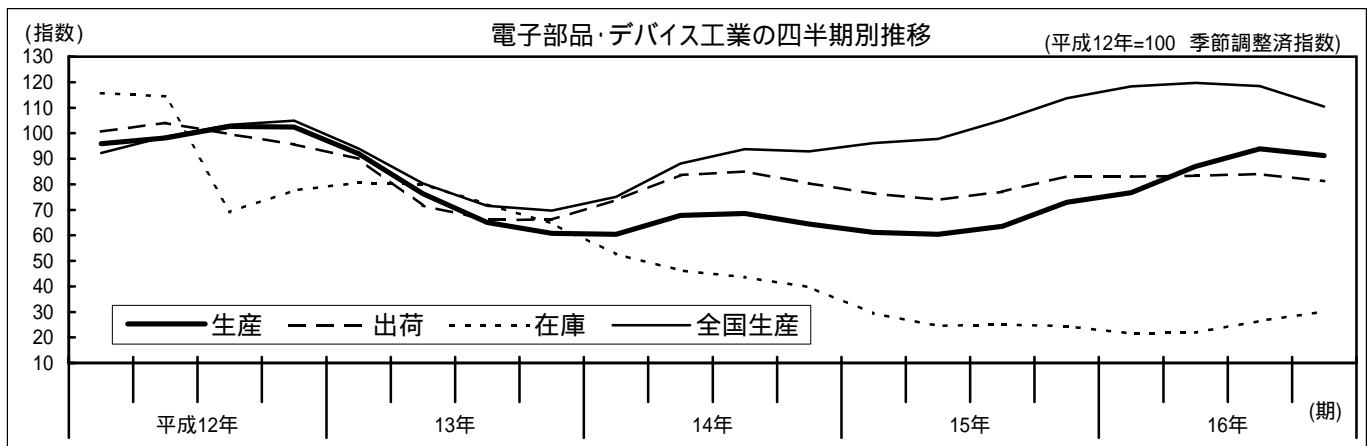
<出荷>

出荷指数(原指数)は、79.0で前年比1.9%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、電気冷蔵庫やアルカリ蓄電池などが減少し、電気測定器などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、63.5で前年末比18.2%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、鉛蓄電池や電気冷蔵庫などが減少し、蛍光灯器具などが増加しました。

< 電子部品・デバイス工業 > - 生産は4年ぶりの上昇、出荷は2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、87.4で前年比35.5%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加し、コネクタなどが減少しました。
 また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、116.9で前年比13.3%上昇し、3年連続して上昇しました。

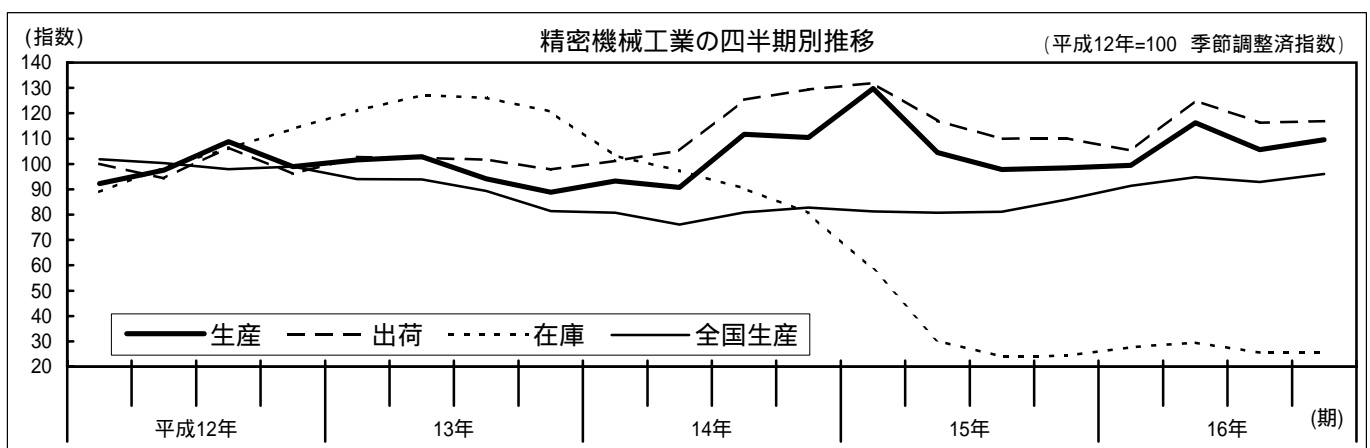
<出荷>

出荷指数(原指数)は、82.9で前年比7.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)や光電変換素子などが増加し、モス型半導体集積回路(記憶素子)などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、30.3で前年末比28.9%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やモス型半導体集積回路(記憶素子)などが増加し、線形半導体集積回路などが減少しました。

< 精密機械工業 > - 生産は3年ぶりの低下、出荷は5年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、106.8で前年比0.3%低下し、3年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、積算体積計や分析機器などが減少し、精密測定機が増加しました。
 また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、94.1で前年比14.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

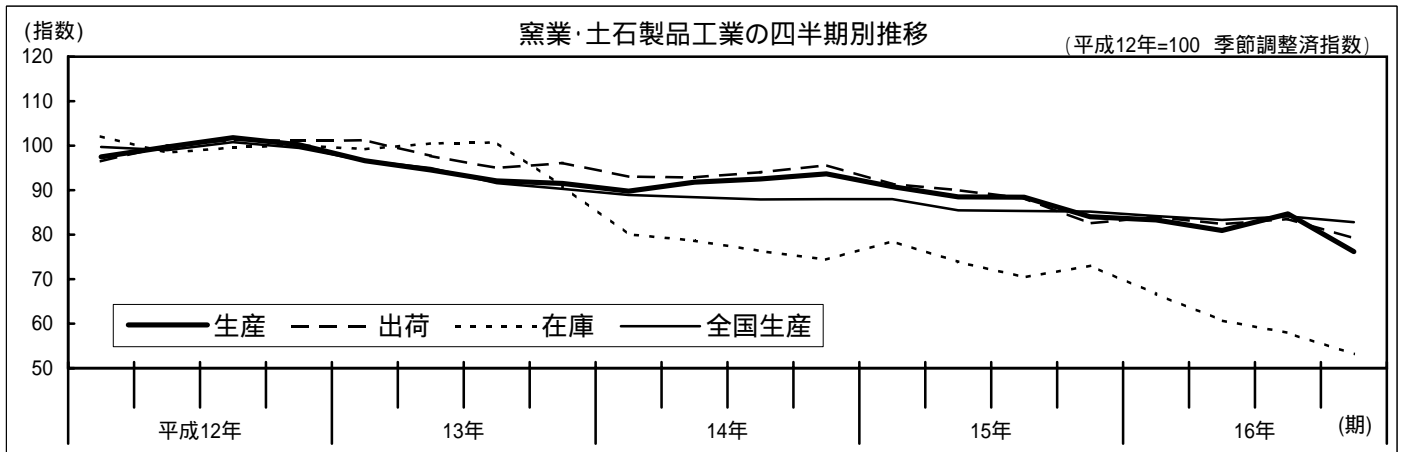
出荷指数(原指数)は、115.0で前年比1.3%低下し、5年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、積算体積計や分析機器などが減少し、精密測定機などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、27.4で前年末比4.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、工業用計重機や測量機器などが増加し、分析機器などが減少しました。

< 窯業・土石製品工業 >

- 生産、出荷とも4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、81.2で前年比7.5%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、石綿スレートや生コンクリートなどが減少し、安全ガラスなどが増加しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、83.7で前年比2.6%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

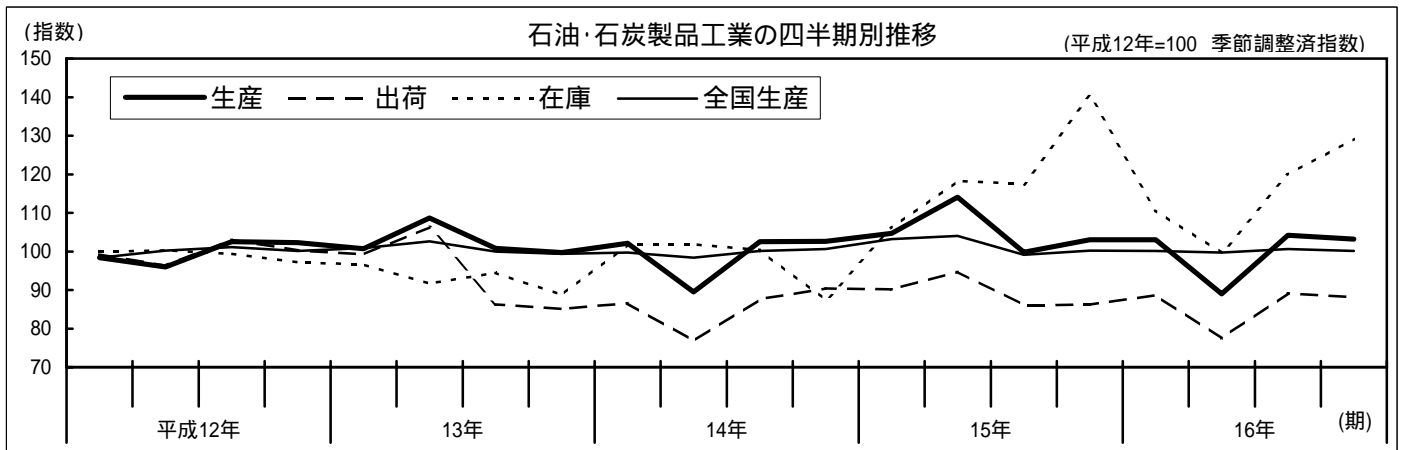
出荷指数(原指数)は、82.2で前年比6.5%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、石綿スレートや生コンクリートなどが減少し、安全ガラスなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、52.4で前年末比27.8%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、石綿スレートやガラス基礎製品などが減少し、板ガラスなどが増加しました。

< 石油・石炭製品工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、100.1で前年比4.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが減少し、アスファルトなどが増加しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、100.4で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

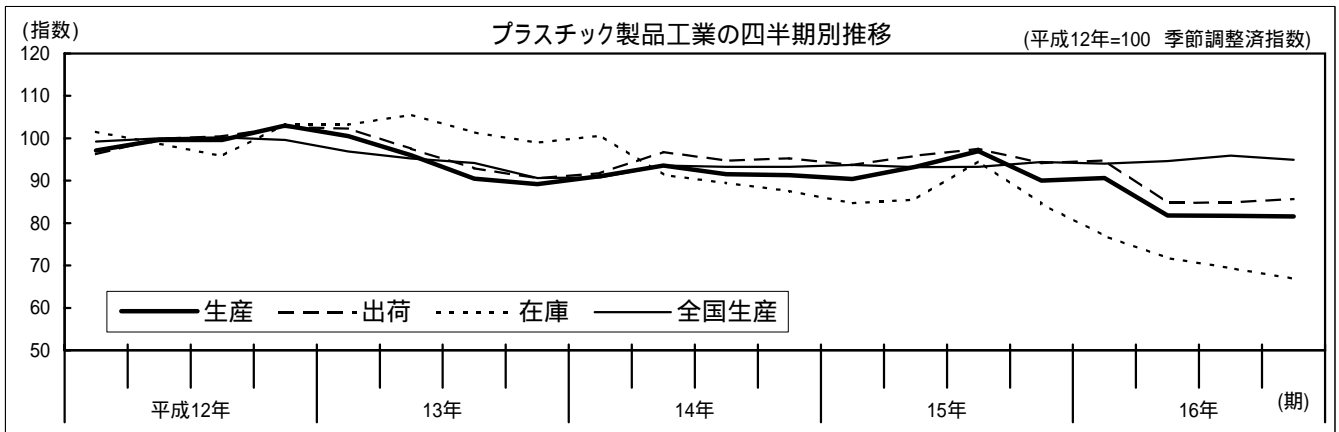
出荷指数(原指数)は、86.0で前年比3.6%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガソリンや灯油などが減少し、アスファルトなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、118.8で前年末比6.9%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが減少し、灯油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

- 生産、出荷とも2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、83.9で前年比9.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、95.0で前年比1.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、87.5で前年比8.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

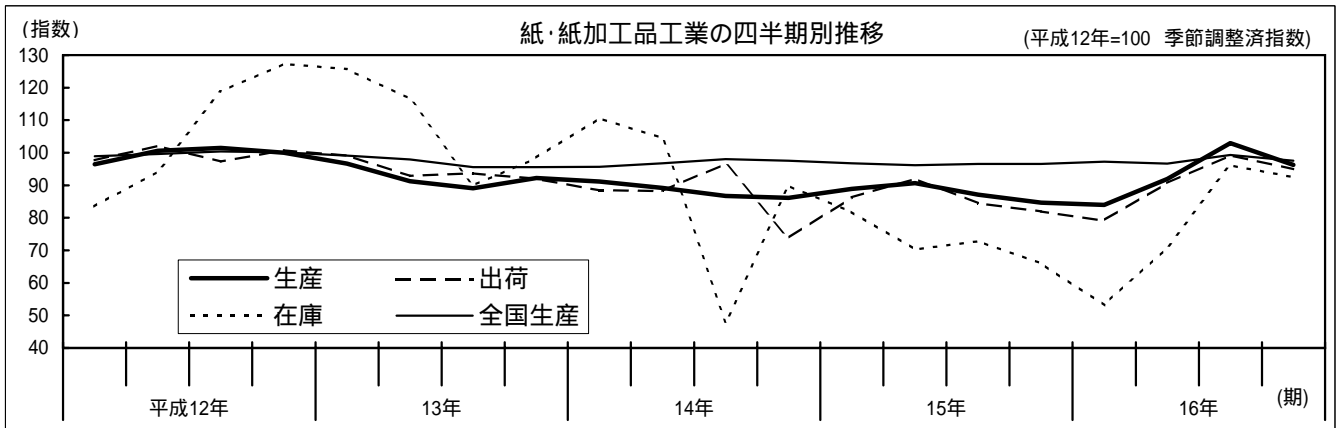
<在庫>

在庫指数(原指数)は、66.8で前年末比21.2%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

<紙・紙加工品工業>

- 生産は4年ぶりの上昇、出荷は5年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、93.8で前年比7.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、97.8で前年比1.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、91.1で前年比6.2%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

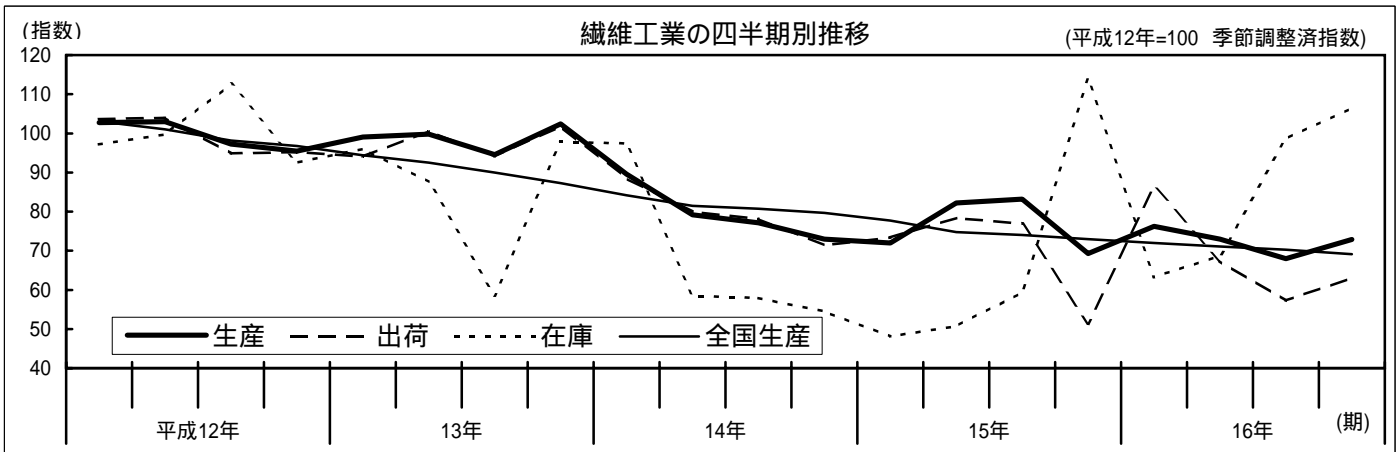
<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.7で前年末比51.1%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

< 繊維工業 >

- 生産は5年連続の低下、出荷は8年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、72.5で前年比5.4%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、補整着やニット・織物製外衣などが減少し、合成繊維が増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、70.7で前年比5.5%低下し、元年以降16年連続して低下しました。

<出荷>

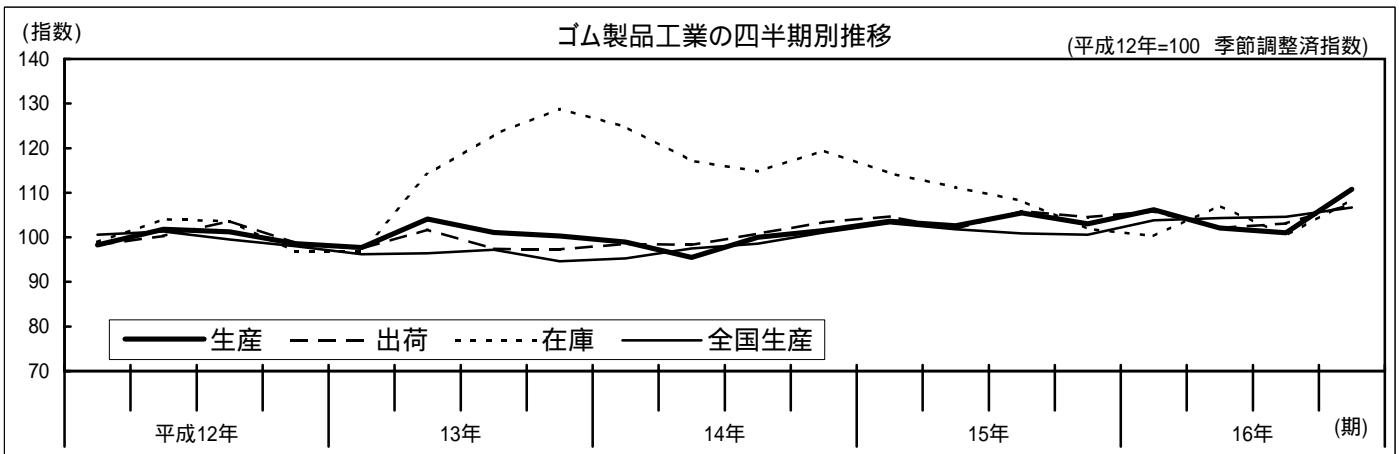
出荷指数(原指数)は、68.9で前年比1.6%低下し、8年連続して低下しました。
品目別にみると、補整着やふとんなどが減少し、合成繊維などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、122.3で前年末比0.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ニット・織物製外衣が減少し、ふとんなどが増加しました。

< ゴム製品工業 >

- 生産は2年連続の上昇、出荷は3年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、105.0で前年比1.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムホースなどが増加し、ゴムベルトが減少しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、105.1で前年比3.5%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

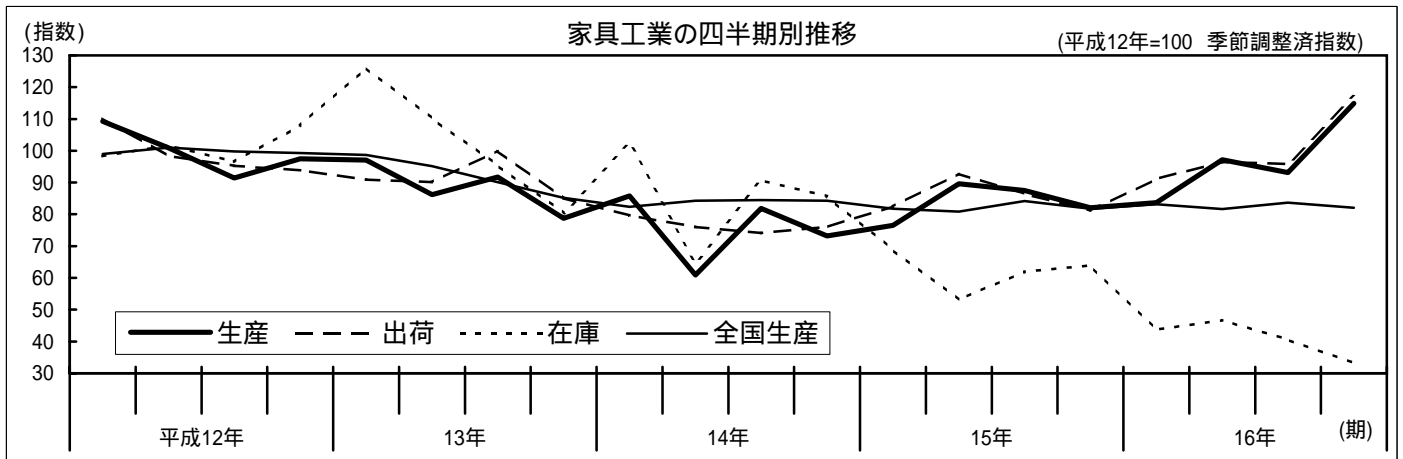
出荷指数(原指数)は、104.7で前年比0.4%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、ゴムホースや工業用ゴム製品などが増加し、ゴムベルトが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、105.9で前年末比8.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムベルトなどが増加しました。

< 家具工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、96.9で前年比16.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具が減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、82.9で前年比1.1%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.2で前年比16.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具が減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、35.2で前年末比44.5%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、その他の金属製家具や流し・ガス・調理台などが減少し、金属製間仕切りなどが増加しました。

3 財別の出荷動向

- 最終需要財は3年ぶりに上昇、生産財は3年連続して上昇 -

平成16年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**(原指数)は、91.6で前年比0.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

また、**生産財出荷指数**(原指数)は、96.9で前年比0.6%上昇し、3年連続して上昇しました。これらの財を四半期別(季節調整済指数)にみると、最終需要財は 1期は前期比3.2%上昇、2期は同6.4%低下、3期は同5.7%上昇、4期は同0.8%低下しました。生産財は 1期は前期比1.2%上昇、2期は同1.5%低下、3期は同0.3%上昇、4期は同2.4%低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財(資本財・建設財)

資本財出荷指数(原指数)は、95.4で前年比13.7%上昇し、2年連続して上昇しました。品目別にみると、外部記憶装置やフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加し、小型バスなどが減少しました。

建設財出荷指数(原指数)は、73.4で前年比1.2%低下し、7年連続して低下しました。品目別にみると、石綿スレートや生コンクリートなどが減少し、橋りょうなどが増加しました。

イ 消費財(耐久消費財・非耐久消費財)

耐久消費財出荷指数(原指数)は、86.0で前年比18.0%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、小型乗用車や電気冷蔵庫などが減少し、電気掃除機などが増加しました。

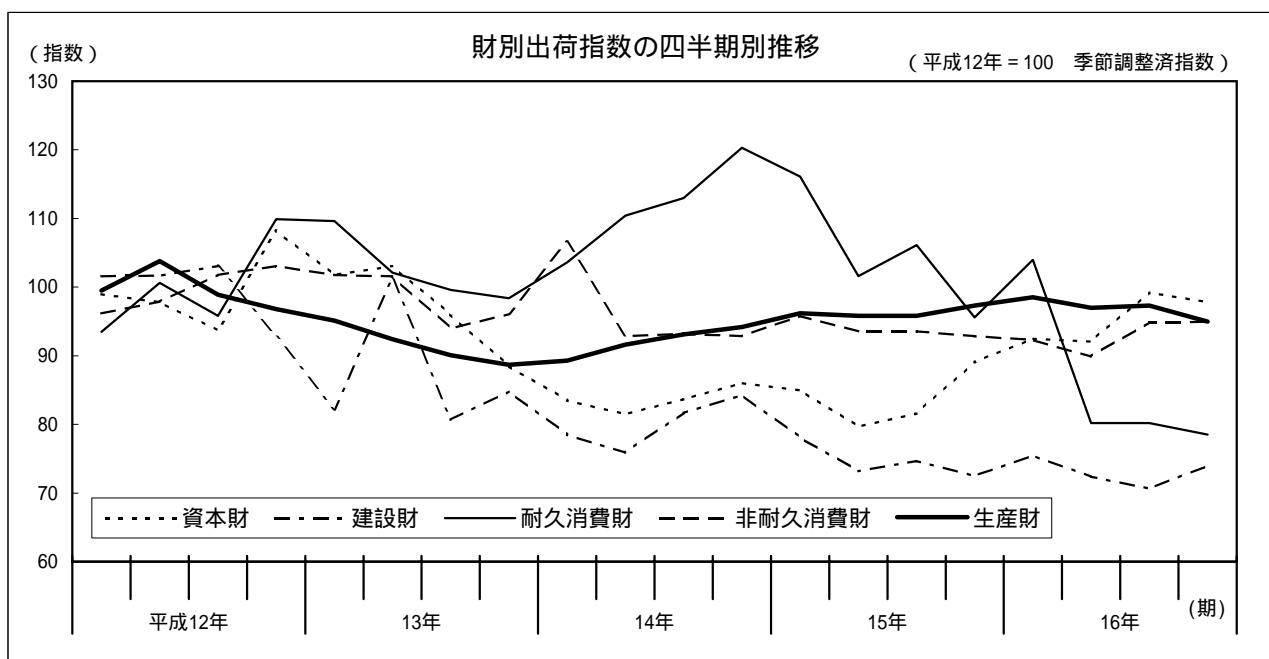
非耐久消費財出荷指数(原指数)は、93.1で前年比0.9%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、衛生用紙などが増加しました。

(2) 生産財

品目別にみると、はん用内燃機関やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加し、乗用車ボデーなどが減少しました。

(P21表12、表13参照)



(特殊分類についてはP85、P87表14参照)

表 1 2

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成12年 = 100)

財	年・期	13年	14年	15年	16年	16年				
						15年	年			
製造工業	指数	95.9	92.7	92.6	93.3	92.9	95.4	90.6	94.1	93.0
	対前年(期)増減率%	4.1	3.3	0.1	0.8	0.9	2.7	5.0	3.9	1.2
最終需要財	指数	98.1	93.1	90.8	91.6	90.8	93.7	87.7	92.7	92.0
	対前年(期)増減率%	1.9	5.1	2.5	0.9	0.3	3.2	6.4	5.7	0.8
投資財	指数	96.2	83.1	82.9	93.1	87.1	90.6	90.5	96.0	95.0
	対前年(期)増減率%	3.8	13.6	0.2	12.3	7.3	4.0	0.1	6.1	1.0
資本財	指数	97.3	83.6	83.9	95.4	89.1	92.5	92.1	99.2	97.8
	対前年(期)増減率%	2.7	14.1	0.4	13.7	9.2	3.8	0.4	7.7	1.4
建設財	指数	86.6	79.5	74.3	73.4	72.5	75.5	72.4	70.7	74.0
	対前年(期)増減率%	13.4	8.2	6.5	1.2	2.9	4.1	4.1	2.3	4.7
消費財	指数	99.8	102.3	98.1	90.3	93.5	96.2	86.2	89.4	89.7
	対前年(期)増減率%	0.2	2.5	4.1	8.0	5.1	2.9	10.4	3.7	0.3
耐久消費財	指数	102.4	111.9	104.9	86.0	95.6	104.0	80.2	80.2	78.5
	対前年(期)増減率%	2.4	9.3	6.3	18.0	9.9	8.8	22.9	0.0	2.1
非耐久消費財	指数	98.3	96.3	93.9	93.1	92.9	92.3	89.9	94.9	95.0
	対前年(期)増減率%	1.7	2.0	2.5	0.9	1.1	0.6	2.6	5.6	0.1
生産財	指数	91.5	92.0	96.3	96.9	97.3	98.5	97.0	97.3	95.0
	対前年(期)増減率%	8.5	0.5	4.7	0.6	1.6	1.2	1.5	0.3	2.4

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3

財別出荷指数の上昇・低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上	資本財	13.7	3.50	増	外部記憶装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、電気測定器など
				減	小型バス、普通トラックなど
昇	生産財	0.6	0.22	増	はん用内燃機関、モス型半導体集積回路(論理素子)、軸受など
				減	乗用車ボデー、懸架制動装置部品など
低	耐久消費財	18.0	2.68	増	電気掃除機、パーソナルコンピュータなど
				減	小型乗用車、電気冷蔵庫、ビデオカメラなど
下	非耐久消費財	0.9	0.18	増	衛生用紙、牛乳など
				減	医薬品、化粧品、ガソリンなど
	建設財	1.2	0.03	増	橋りょう、普通鋼鋼管など
				減	石綿スレート、生コンクリート、プラスチック製板など